

西大和つうしん

2022年7・8月号

No.468



〈藤原岳〉頂上の下から、箱庭のような風景に見とれる〈2022.5.29〉

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第468号(2022年7・8号)

【目次】

7・8月度山行計画	1
7・8月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・自主山行 《4/21-24》 山梨の山 富士見山行(野路・杉村)	5
・例会山行1 《5/8》 和泉山脈 紀泉アルプス 飯盛山(上田)	6
・自主山行 《5/15-16》 法皇山脈 西赤石山(岩田)	7
・例会山行2 《5/22》 大峰山脈 稲村ヶ岳・大日山(杉森)	8
・例会山行2 《5/29》 鈴鹿山脈 藤原岳(藤井)	9
女性委員会だより	10

7月度山行計画

～風車群で知られる青山高原を歩きましょう!～

体験山行対象

例会山行1 布引山地 《青山高原 髻山 756m》

【日程】7月3日(日) (L上田)

※参加者はリーダーまで申込み(6月19日締切り)

【集合】近鉄新王寺駅改札前6:50 または 東青山駅9:00

【交通】新王寺7:04⇒7:25 西田原本/田原本7:31⇒7:36 大和八木7:45⇒
(五十鈴川行急行)⇒8:53 東青山

【コース】四季の里～(60)～見晴台～(90)～髻山～(60)～丸山展望台～(15)～アセビの丘
～(40)～滝見台～(50)～四季の里

※歩行時間:約5時間30分(休憩含まず) ※歩行距離:約13km

※本山行は、体験山行の対象です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

～尾鷲の海が見える絶景ポイント!～

例会山行2 台高山脈 《天狗倉山 511m》

【日程】7月10日(日) (L永井)

※参加者はリーダーまで申込み(6月26日締切り)

【集合】上牧町役場前駐車場6:00

【コース】鷺下登山口～(60)～馬越峠～(30)～天狗倉山～(25)～天狗倉山東峰～(10)～
カンカケ山～(10)～水地越峠～(100)～鷺下登山口

※歩行時間:約4時間(休憩含まず) ※歩行距離:約7.4km

8 月 度 山 行 計 画

～神秘的な雰囲気にもまれた山上の楽園へ！～

体験山行対象

例会山行 1 台高山脈 《大台ヶ原・日出ヶ岳 1,695m》

【日 程】 8月28（日） （L玉野）

※ 参加者はリーダーまで申込み（8月14日締切り）

【集 合】 JR王寺駅 6:50 または 上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】 大台ヶ原駐車場～日出ヶ岳～正木ヶ原～大蛇ヶ原～シオカラ谷吊橋～
大台ヶ原駐車場

※ 歩行時間：約 4 時間（休憩含まず） ※ 歩行距離：約 8.4 km

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

西大和山の会 カレンダー

7 月			8 月		
1	金		1	月	
2	土		2	火	県連理事会
3	日	例会山行 1《青山高原》(上田)	3	水	
4	月		4	木	
5	火	県連理事会	5	金	
6	水		6	土	
7	木		7	日	
8	金		8	月	
9	土	テーピング講習会:郡山市市民交流会館 13:30~	9	火	
10	日	例会山行 2《天狗倉山》(永井)	10	水	
11	月		11	木	
12	火		12	金	
13	水		13	土	
14	木		14	日	
15	金		15	月	
16	土		16	火	
17	日		17	水	
18	月		18	木	
19	火		19	金	
20	水		20	土	
21	木		21	日	
22	金		22	月	
23	土		23	火	
24	日		24	水	西大和つうしん原稿締切
25	月		25	木	
26	火		26	金	
27	水		27	土	
28	木		28	日	例会山行 1《大台ヶ原・日出ヶ岳》(玉野)
29	金		29	月	
30	土		30	火	
31	日		31	水	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)		7/3 例会1	7/10 例会2	8/28 例会1			
			青山高原	天狗倉山	大台ヶ原 日出ヶ岳			
1	都築							
2	藤井							
3	島崎							
4	村田							
5	勝尾							
6	杉村							
7	橋本							
8	亀高							
9	野路							
10	杉森							
11	上田		LO					
12	永井			LO				
13	岩田							
14	佐々木							
15	玉野				LO			
16	前田							
合 計								
緊急連絡先								
HP 編集者			亀高	永井	橋本			

L:リーダー、○:参加、◎:車

※山行参加の回答は、リーダーに山行 2 週間前までにお知らせください。

※HP の会員の広場に掲載している「山行リーダーのための例会山行までの流れ」を参照して下さい。

山行報告

自主山行 山梨の山 富士見山行(王岳、石割山～太平山) (1,623.3m) (1,412.3m) (1,295.4m)

【日程】4月21日(木)～4月24日(日)

【参加者】L 島崎・杉村・野路・岩田(4名)

4月22日(金) 晴れ 王岳

【コース】 駐車場(7:30)～登山口(8:25)～王岳(9:47/11:00)～鍵掛(12:38)～
鍵掛峠(12:55/13:18)～本沢登山口(14:06)～いやしの里(14:35)

前日夕方から降り出した雨も上がり、朝からくっきりと綺麗な富士のお山が見える。絶好の富士見山行となった。根場駐車場に車をおいて登山口までは、林道歩きになる。沢沿いを登って行くと崩れやすい地質なのか、幾つもの砂防堤がある。登山口で休憩をして、ジグザグのトラバースを繰り返し、ゆっくりと登って行く。途中から富士山が見えると、急登であることも忘れた。

まもなく王岳に着く。目の前に大きな富士のお山、前日の雨は山頂では雪になったらしく、新雪で山頂は白く光っていた。ゆったりとした大きな裾野・・・山梨から見る富士は空もお山も深い青であった。感動と感激、また風もない穏やかな日差しの下、1時間以上も見とれていた。アップダウンも少しあったが、富



土のお山をながめながら稜線歩き・・・眼下に西湖も見え、素晴らしい景色に見とれながら富士山を堪能した。鍵掛峠でまた長い休憩をしたのち、南向きのトラバース道を下っていやしの里に下りた。いやしの里・・・名前のとおり、いやしの里は、茅葺の家、半鐘、こいのぼりと枝垂桜が満開。白く冠雪した富士のお山・・・時間がとまったような、ゆったりとした景色、本当に癒される、懐かしい風景だった。(記：野路政子)

4月23日(土) 晴れ 石割山～大平山～長池山(1,178m) から大出口へ

【コース】 石割山登山口(8:05)～石割山神社(8:50)～石割山山頂(9:19/36)～
平尾山(10:19/51 昼食)～大平山(11:25)～長池山(13:07)～大出口(14:08)

早朝に山中湖畔から眼前に雪化粧した美しい富士の姿が見える。今日一日も幸先良いスタートである。今日は富士山の東北東にある石割山から山行開始する。石割山登山口まで宿の方に送って頂く。そこには神社に行かれる方やハイキングをされる方など車が多く停まっていた。

小川を渡り、赤い鳥居をくぐり 402 段の長い階段を上り始めたが、数分前まで宿でゆっくりしていた体には応える。気を紛らわすために段数を数えながら辛うじて一気に上ることが出来た。整地された明るい道へとでる。富士山もまぢかに見え、そして所々に岩やご神木を見ながら石割神社へ着く。巨岩が鎮座している石割神社はパワースポットでもあるそうだが、真ん中で割れた岩を見ると納得した。後日知ったことだが、巨岩の割れた間を 3 周すれば願い事が叶うそうな。



山桜やミツバツツジやスミレが咲き、道もはっきりと出来ている石割山へ、のんびりと進む。山頂直下の急登を上ると正面に雪化粧した富士山、眼下には静かな山中湖最高の展望の石割山山頂に着く。そこは広場となり多くの人々がゆっくりと休憩を取っていた。私たちも同様にくつろぎ、絶景の写真を撮り合う。次の平尾山までは 45 分でした。絶景の山頂にはここも多くの登山者がいた。あまりにも絶景なので休憩をとる。平尾山から古い急な階段を下るがこれがまた長い。景色に見とれていると転びそうである。このコースは階段のアップダウンが多い。その付近からゼッケンをつけた多くの人たちと対向し始める。この人たちは 100 マイルレース(160k)ウルトラトレイルマウントフジという日本最難関の大会が開かれていた。丁度遭遇した時は 110k 走っている状態なので少しの睡眠しかとっていなかったのではないかと、と思うほど疲れた顔をしていた。「がんばれー」「がんばってー」と声掛けをした。

富士山には昨夜の積雪により凍結している所がツルツルに光っている姿や左稜線に宝永山、



山頂近くには富士奥宮神社社務所が見え、青空のもと素晴らしい景色を大平山山頂から見る事が出来た。昼食をしている前をトレランの人たちが富士山をバックに写真を撮っては走って行く。満身創痍の方も頑張っって走って行った。私達は時間に余裕があり、また来ることもないだろうとのんびり休憩を取り、雪をかぶった富士山を堪能する。後半はなだらかな道や溝が出来た山道を最高の富士山を見ながら飯盛山、長池山、と元気に縦走し大出口登山口へと下った。
(記：杉村好子)

例会山行1 和泉山脈 紀泉アルプス 飯盛山 384.5m

【日 程】5月8日(日) 晴れ

【参加者】L 永井・SL 島崎・藤井・杉村・亀高・野路・杉森・上田・佐々木・玉野・前田
(11名)

【コースタイム】登山口(9:20)～提灯講山(10:05)～大曲山(11:06)～飯盛山(11:35/12:35 昼食)～
提灯講山(13:30)～登山口(14:20)

5月の大型連休も最終日、快晴。今日はハイキング日和です。今回の山行はちょっと趣を変えて日帰りで行ける島(友ヶ島)歩きの予定でした。しかし、海上の風が強いらしく残念ながら欠航となってしまいました。

そこで予め計画されていた第2プランの飯盛山へと行先変更することに。岬公園駅近くにあるコインパーキングに車を止める。なんと駐車料金が24時間200円!こんな安い料金見たことない。住宅地を抜けて登山口へ約10分。歩きやすい道がしばらく続いた後眺望のよい場所に出た。遠くに神戸市街、明石大橋、淡路島、眼下にみさき遊園地跡と南海電車の岬公園駅が見えている。友ヶ島や加太港がどのあたりにあるのか知りたかったが、突き出た半島と周りの木が重なり確認できなかった。山中は爽やかな風が吹き抜けうっすら汗をかく程度。のんびり歩いてP198の提灯講山、P223の大曲山、どちらも展望はない。



歩き始めて2時間余りで標高384.5mの飯盛山山頂に出た。展望台が設けてあり大阪湾、神戸市街、明石大橋、淡路島、関西空港を望む事ができる。海上は流れがぶつかり合っているのだろうか海の色が濃いところ、薄いところ筋状になって見える。白波もたっている。内陸ではわからないけど海上は強い風が吹いているようだ。1時間ほど頂上でのんびりと昼食。復路は来た道を引き返す。下山時間は14時20分、太陽はまだ高い。気候も良く、あまりアップダウンもなく、険しいところもなく、ずっと歩いていられそうな紀泉アルプス。また違うルートからも歩いてみたい山になりました。今回中止になった友ヶ島、いつかリベンジしたい。(記:上田雅子)



自主山行 法皇山脈 西赤石山 1,626m

【日 程】5月15日(日) 曇り時々小雨

【参加者】L野路・SL橋本・藤井・島崎・岩田(5名)

【コース】日浦登山口(8:25)～東山(10:30)～西赤石山(11:50/12:20)～東山(13:20)～銅山越(14:00)～日浦登山口(15:40)

早朝佐味田川を出発して4時間、その日のうちに登る。登山口は、日曜日ともあり四国の人気の山か人がごった返していた。東山まで尾根道を登る。人が少なくてよかったが急登できつかった。東山を越えると、視界も開け赤石ミツバツツジのトンネルが続き楽しんだ。頂上付近では、お目当てのアケボノツツジの花が落ちていて、もう終わりかなと思っていると、見事に1本咲いていて優しい色で可愛くて私は初めて見ることができ感激した。頂上からは瀬戸内の海、石鎚山を望むことができ、四国の山も奥深いなと思った。

下山は別子銅山が栄えた頃の遺構を見ながら整備された道をのんびりと下った。途中「ダイヤモンド水」という水が流れていた。戦後、ここでボーリング探査をしているときに水脈にあたり水があふれ出て、ダイヤモンドの先端部分が今も孔底に残っているので「ダイヤモンド水」と呼ばれているそうです。流れる水にダイヤモンドを見つけた人がいるのかな？私も見つけたい！…などと当時のことなど思いながら歩く。可愛いツガザクラの花（本州の生殖地の最南端だそうです）も見ごろだった。移動と山行でとても長く感じた1日だった。アケボノツツジも出会うことができ、遺跡を見学しながら、ちょっといつもと違った四国の山を楽しむことができた。
（記：岩田礼子）



例会山行2 大峰山脈 **稲村ヶ岳** 1,726m・**大日山** 1,689m

【日程】5月22日（日） 晴れ

【参加者】L 岩田・SL 橋本・藤井・島崎・亀高・野路・杉森・玉野（8名）

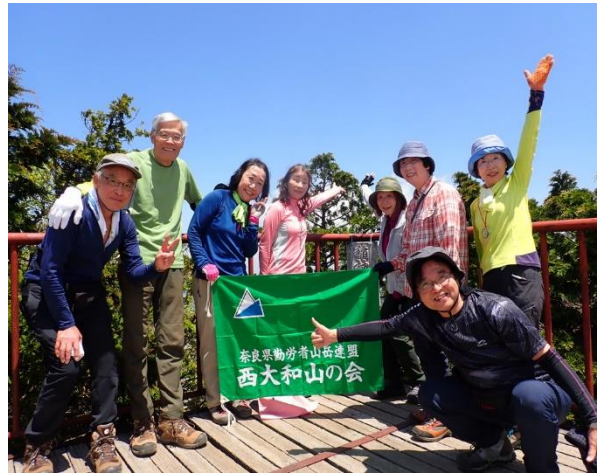
【コース】母公堂(7:50)～法力峠(8:55)～山上辻(10:20)～稲村ヶ岳と大日山分岐(10:55)～稲村ヶ岳(11:12/27)～大日山(11:50)～稲村小屋(12:25/13:00 昼食)～法力峠(14:07/17)～母公堂(15:10)

例会山行では、初めての稲村ヶ岳である。積雪時に止むを得ず稲村小屋の手前で引き返している。また、小屋の中で寒くて寝られなかったこともよく覚えている。一方、夏に家族と登っているが、ほとんど記憶にない。

母公堂から登山開始。法力峠までは、杉木立の中を話しながら緩やかに登る。峠を過ぎると、ブナや楓などの広葉樹林に変わる。濃淡のある新緑の森の中に木漏れ日が射して、いい雰囲気の中を歩く。稲村小屋に近くにつれて、道が狭く滑りやすい箇所は何度も遭遇する。新しい鎖が付けられている所もある。積雪時、この辺りはよほど注意しないと滑落の危険があることを改めて痛感した。



稲村小屋から頂上へ向かう途中、オオミネコザクラが咲いていた。皆見るのは初めてである。感激して、写真を撮りまくる。稲村ヶ岳は、「花の百名山」と呼ばれるのも頷ける。一方、楽しみにしていたシャクナゲは所々散見する程度で、少し物足りなかった。展望台のある稲村ヶ岳山頂に到着。360度の大パノラマが広がる。弥山、八経ヶ岳・・・と繋がる大峰山脈から、遠く葛城山、金剛山などの絶景を楽しんだ。続いて少々険しい大日山に登る。山頂には祠があり大日如来が祭られている。稲村小屋に戻って昼食。休憩している登山者も多く、小屋横のテント場には、カラフルなテントが幾つも張られていた。



好天の下、花と景色を十分楽しみ、会話も沢山交した山行であった。（記：杉森英二）

例会山行2 鈴鹿山脈 藤原岳 1,140m

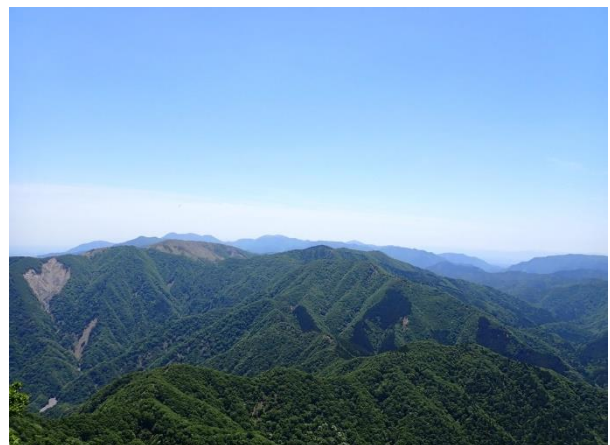
【日 程】5月29日（日） 晴れ

【参加者】L 野路・SL 島崎・藤井・亀高・岩田・佐々木・玉野（7名）

【コース】 駐車場(8:05)～聖宝寺(8:30)～八合目(10:20)～藤原山荘(11:30/55 昼食)～
藤原岳(12:15/25)～藤原山荘(12:40/55)～八合目(13:30)～
表登山道駐車場(15:10)

抜けるような青空とはまさにこのこと、8時過ぎだというのに駐車場はすでに満杯。小学校の前の観光駐車場に停める。狛犬ならぬ狛猿のいる鳴谷神社から300段の階段を登って聖宝寺へ。釣り池の端を通して裏登山道に入る。荒れた沢を抜け杉林の急登を過ぎるとやっと六合目、新緑の自然林になっても急登はまだまだ続く。裏登山道では出会ったのは下ってくる数組だけで、ほとんど人に会わなかったが表登山道と合流する八合目からは人の数が増えてくる。早春にはフクジュソウが咲き誇る花の道になっているが、今は葉も残っていなかった。開けた平地に立つ藤原山に着くと、目の前に藤原岳山頂が望め、多くの人が休憩をしていた。山頂まで20分、我々も木陰でまずは腹ごしらえ。山頂からは鈴鹿の山々、伊勢湾、琵琶湖の絶景を楽しんだ。予定していた天狗岩には寄らず表登山道の大貝戸道を下山した。

（記：藤井益子）



❁ ～女性委員会だより～ ❁

◎ テーピング講習会を開催します。

テーピングは、痛み等の症状が出てからではなく、登山の前に貼っておけば筋肉の疲労、ケガの予防にも大きな効果があります。

前回参加された方も、初めて参加される方も大歓迎です。もちろん男性の参加も大歓迎です。

テープの正しい貼り方を覚えて登山に役立てましょう！！

日時 : 2022年7月9日(土) 13:30～17:00
場所 : 大和郡山市市民交流会館
講師 : 前畑 将平先生(さほ鍼灸接骨院)
参加費 : 1000円(テープ代、資料代等)
定員 : 20名程度(先着順)

※ 持ち物・・・ハサミ

※ 実際に足にテープを貼るので、足を出しやすい服装で来てください。また、着替えが必要な方は、お持ちください。

※ マスク着用をお願いします。

※ コロナの感染状況により中止となる場合もあります。

※ 申込締切 6月24日

参加申し込み 各会女性委員まで(岩田さん)

または、奈良労山 藤田和美(0742-34-0452)

西大和つうしん
第 468 号 (2022 年 7・8 月号)
2022 年 6 月 12 日発行

発行責任者 永井章夫
編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>